

子どもたちが串間産食材に舌鼓！

## 学童料理教室が開催されました

子どもたちに串間産の農産物のおいしさを知つてもらうと、みやさきの食と農を考える県民会議南那珂地域支部主催の「学童料理教室」が7月25、30、31日の計4日間、市総合保健福祉センターで開催されました。

教室には、市内の学童保育に通う小学生が参加。地産地消を推進する食育ティーチャー、武田郁子さんをはじめ農業女子「キラリ☆くしま」、元保育園職員らと一緒に、地元産の豚肉や野菜などを使った料理に挑戦しました。

料理が完成した後は全員で試食し、「おいしい！」との声が多くあり、何度もおかわりする子どももいて、笑顔で串間産食材の料理を楽しみました。



## 串間市の健全化判断比率などを公表します

平成30年度決算

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」の規定によつて、平成30年度決算に係る5つの比率を公表します。

市の平成30年度決算からの比率は、いずれの比率も基準内となつていますが、数値の検証分析を進め、今後もさらなる健全化に努めます。

### 【健全化判断比率】

特別会計の名称	資金不足比率		経営健全化基準
	30年度	29年度	
水道事業会計	—	—	20.0%
病院事業会計	4.0	—	20.0%
農業集落排水事業特別会計	—	—	20.0%
公共下水道事業特別会計	—	—	20.0%
漁業集落排水事業特別会計	—	—	20.0%

※各会計の資金不足比率の「—」は、資金不足額がないことを示しています。

問 / 財務課財政係 ☎内線323・324

## 金谷っ子サポーター誕生！

本市では、認知症に対する正しい知識と理解を持ち、地域で認知

症の方やその家族に対してできる範囲で手助けをする「認知症サポートーー養成講座」を推進しています。

9月に、金谷小学校3～6年生が「認知症ってなあに？」をテーマに、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の病気や症状、また、どのように対応したら良いのか？などを学びました。

講座は、地域住民や金融機関、小・中学校の生徒などのさまざまの方に受講いただき、毎年300～450名のサポーターが誕生しています。今後もこの認知症施策を切り口に、みんなにやさしい地域づくりに取り組んでいきます。

● 校長先生に聞きました！

Q1 認知症サポーター養成講座を受けるきっかけは？

A 金谷小学校では、毎年市内の福祉施設に慰問を行つており、認知症の理解や福祉疑似体験することで、施設訪問の心構えや対応について学び、参加していきたいと思ったからです。

### Q2 認知症についての理解度について

A 認知症の人へ接するポイント、3つのない（驚かせない、急がせない、自尊心を傷つけない）が分かりやすく、グループワークでも子どもたちから感想がたくさん出たので良かったです。



金谷小学校  
ふたりごいちらう  
二渡 孝一郎 校長